



学校だより

福島県立大笹生支援学校
NO.2 令和5年7月20日

1学期の活動報告



小学部、中学部、高等部の学習の様子をお伝えします。

小学部



小学部では、大笹生小学校との交流及び共同学習を行いました。本校3、4、5年生と大笹生小学校3、5年生が3年ぶりに一堂に会して活動を行うことができました。体育館での全体会やグループごとの活動を通して、友達を応援したり息を合わせてゲームに取り組んだり、直接ふれあえることを楽しみながらお互いに交流を深めることができました。また、大笹生地区の施設を利用した学習では、野菜の苗を購入したり、商品についてお店の方に質問したりし、地域で作られている農作物について知ることができました。



地域の人とのふれあいや施設の利用を通して、地域のつながりを感じながら、学習で身に付けた力を発揮したり、新たな知識を得たりすることができました。

中学部

中学部では、集団の中で自分の役割を果たしたり、きまりを意識して進んで活動に参加したりすることをねらいとして学部集会を実施しました。昨年度までは3会場をリモートで繋いで各会場の様子をモニターで共有しながらの実施でしたが、今年度は基本的な感染対策を講じながら全員が体育館に集まっての実施となりました。当日は同じグループの友達に声援を送る様子が見られたり、チームリーダーとして対戦グループを決めるくじ引きに意欲的に臨んだりする姿が見られ、多くの生徒が笑顔で集団活動を楽しむことができました。今年度はあと2回学部集会を行う予定です。グループは変えずに実施するので、優勝を目指して作戦を工夫したり、生徒同士で励まし合ったりする姿を期待します。



高等部

高等部では、6月5日(月)から16日(金)の2週間にわたり、前期産業現場等における実習を実施しました。1年生は校内での実習、2、3年生は主に校外での実習を行いました。1年生は長時間集中して仕事に取り組むことの大変さや働く上での基本的なマナーやルールを知ることができました。2、3年生は卒業後の自分の生活を意識し、福祉事業所や企業等での作業や仕事を体験しました。実習では、職場の方々やお客様などへのあいさつやコミュニケーションをとることの大切さ、働く時の態度等を学ぶことができました。今回の実習の反省・評価を11月に実施する後期産業現場等における実習に生かし、よりよい進路選択へ繋げていきたいと考えています。



職員研修の様子

「学習や生活の場で活用できる!生きて働く力を育む授業づくり」をテーマに研修に取り組んでいます。児童生徒が様々な授業で身に付けた力を十分に発揮させ、社会に参加する力につながることを目指しています。6月に元筑波大学附属特別支援学校長下山直人先生に講演いただき貴重な学びの機会となりました。また、月ごとに研修日を設けて実践を話し合い、より良い児童生徒の資質・能力を育成できるよう、日々研修に努めています。



(学校だよりは HP でもご覧いただけます。QR コード

